

団体名	向島の森をはぐくむ会
代表者名	笹木延吉
連絡方法	TEL:090-6029-1811
団体案内 (目的・趣旨)	日野市の数少ない貴重な平地林を、生物多様性を基本に考え、明るく健全な雑木林に管理し、子供たちが自由に遊べるスウェーデンの森を目指しています。
設立年	2023年
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○スウェーデンの森を目指した環境学習活動 ○雑木林の保全活動:刈払機による下草刈り、チェーンソーを使って枯れ木等の伐採作業 ○鎌や鋸を使って枯れ枝の処理や下草刈り ○野鳥等の定期的な観測 ○動植物の調査 ○子供たちへの環境学習
主なフィールド	向島緑地
活動日	毎月第4日曜日午前9時30分～正午まで
会員数	18名
募集	常時
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	個人所有の荒れた雑木林が隣接しているので、市に信託緑地の登録を要望している又、隣接の向島用水親水路に子供たちと米作りをするため田んぼを築造する事を、市に要望している。

～向島緑地の活動に向けて～

浅川潤徳水辺の楽校は、現在活動休止中ですが、向島用水敷きに**田んぼづくり**と**向島緑地をスウェーデンの森に！！**と市に要望書を提出し、活動計画を進めていたところ、雑木林の活動を模索していた市民団体「みどりワクワクチーム」と、それぞれの思惑が一致したため、**2023年9月24日**「スウェーデンの森」に造詣の深い下重喜代氏をお呼びして、現地で初の活動計画の話合いが、行われました。



スウェーデンの森に造詣の深い下重喜代氏（会員）と野鳥の専門家からのレクチャー

向島緑地を子供たちが自由に遊べるスウェーデンの森に

北欧の一国・スウェーデンの幼児教育は特徴的です。自然の中での遊びを通して、子どもたちの「創造力と想像力」「学ぶ意欲」、そして、これからの社会で不可欠となる「サステナビリティに対する意識」を育んでいます。

～向島緑地の整備が始まる～



向島緑地は30年以上放置されたままの状態、枯れ大木や鳥が運んできたと思われるシュロの大木？が30本以上もある荒れ果てた緑地でした。そこで**応援ボランティアを規約に持ち日野市では先進的な「南丘雑木林を愛する会」**に応援を依頼したところ、11月23日に10数名の会員がチェーンソーなどを巧みに使い30本以上のシュロの大木を皆伐し園路に並べて完了



令和5年度の日野市雑木林ボランティア講座の卒業生が5人も入会してくれました。嬉しい出来事です!!



さっそく、習い覚えた刈払機でした草刈りの実習です。ボランティア講師の両ササキの指導のもと、みるみる上達しました。